



御 建 第 462 号
平 成 20 年 10 月 23 日

国土交通省道路局長 様

御 船 町 長 山 本 孝



今後の道路行政についての意見・提案の提出について

平成20年9月19日付け国道企第37号で依頼のありましたこのことについて、別紙のとおり報告します。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ①

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

熊本県上益城郡御船町

政府は、道路財源に関して、本年6月に閣議決定した「経済財政改革の基本方針 2008」において、平成21年度からの道路特定財源の一般財源化を改めて明示されました。

道路は、生活・経済活動の根幹となる社会資本であり、一般財源化されても必要な道路は着実に整備していく必要があり、特に生活や経済活動の面で自動車交通に大きく依存している本町においては道路網の整備は重要な課題です。

よって、次の事項について要望します。

- 1) 道路特定財源の一般財源化に当たっては、地方道路整備の必要性や厳しい地方財政の実態に応じた、道路整備や維持・補修を着実にを行うための財源確保と配分を行う制度を確立されること。
- 2) 遅れている地方の道路整備と計画的修繕を行うための「地方道路臨時交付金制度」等の補助制度の維持、若しくは同等以上の制度を確立されること。
- 3) 道路整備の中期計画策定に当たっては、地方の道路整備の実状と地域住民の声に配慮し、必要と判断される道路の整備を確実に盛り込むこと。

②—1 地域の現状と抱える課題

○現状

本町の人口は平成 20 年 3 月 31 日現在 18,390 人、平成 10 年同月と比較すると 542 人の減少となり、65 歳以上の高齢者が占める割合は 26.7%に達するなど地域を支える人が少なくなっている。

特に、山間地においては、人口流失により限界集落等が現実化し過疎化対策が喫緊の課題となっている。

○課題

このため、過疎化対策として定住人口の増加による地域の活力の創出とまちづくりを図るための、以下の道路ネットワークの形成が課題となっている。

- ・九州横断道路延岡線の早期完成
- ・国道 445 号御船バイパスの早期完成
- ・県道 221 号田代御船線の整備促進

②—2 地域の目指すべき将来像

熊本県上益城郡御船町

本町は、古くから上益城郡の政治・経済・文化の中心として発展してきた町であり、交通の要衝として重要な位置にありますが、道路整備は引き続き郡及び県の中心として発展するための重要な課題となっています。このことを踏まえ本町が目指すべき将来像を以下のよう
に考えております。

- ① 快適な暮らしを支える基盤づくりとして、特に道路については、産業振興にも欠かせない流通基盤として広域道路網の整備を推進する。
- ② 住民の安全な暮らしを確保するため、地域の現状と問題点を絶えず把握し、防災体制の強化と交通安全施設の整備を推進する。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ④

③道路施策の重点事項（代表事例、期待する効果や評価等）

熊本県上益城郡御船町

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○ その他
九州横断自動車道 延岡線	地域活性化インターチェンジの設置	・救急医療の支援 アクセス時間の短縮による救命率の向上 ・農産物の販路拡大 生産物の販路拡大や安定的出荷体制の確保 ・過疎地域の定住促進 山間地の都市部への通勤圏が拡大し、定住促進が見込まれる ・緊急輸送道路の補完 山間地域の道路は狭隘・急勾配であり災害等に弱く、緊急輸送道路として活用が図られる。	